

令和6年度 外国語科「 English Communication II 」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～E組
教科書	(CII721) Vivid English Communication II (第一学習社)	副教材等	ZOOM English Grammar 27 Lessons THIRD EDITION

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、言語活動および統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画											
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	・日本人アスリートと英語についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson1 Japanese Athletes and English	・整理した内容を活用して、日本人アスリートについてスピーチをする。 ・進行形、受け身、S+V+C (=現在分詞・過去分詞) について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	授業観察 発話評価 課題提出
5	・バナナの特徴や危機についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 2 Our Beloved Yellow Fruit	・主題文と支持文の関係に注意し、英文を理解する。 ・ seem to ～、It is … (for A) to ～、強調について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	授業観察 発話評価 課題提出
中間 考查	中間 考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	定期 考查
6	・自然災害と防災についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 3 Preparing for Potential Risks	・指示表現や言いかえ表現に注意して、英文を理解する。 ・ It is +形容詞 + that-節、完了形、完了形 (受け身) について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8	授業観察 発話評価 課題提出
7	・国際化する日本の状況と開かれた社会にするために重要なことについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 4 To Make a More Open Society	・整理した内容を活用して、文化交流イベントのポスターを作り、発表する。 ・ S+V+O+O (=名詞節)、関係代名詞 (制限用法・非制限用法) について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	10	授業観察 発話評価 課題提出
期末 考查	期末 考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	定期 考查

第2学期学習指導計画											
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	・ネコのくうと犬のしのがともに過ごした時間ときずなについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 5 True Love between a Cat and a Dog	・未知語の意味を推測しながら、英文を理解する。 ・ 群動詞 (受け身)、進行形 (受け身)、関係副詞 (制限用法・非制限用法) について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	7	授業観察 発話評価 課題提出
10	・ドローンのメリットや問題点、今後の展望についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 6 A Society with Drones	・整理した内容を活用して、ドローンの活用のは非についてビンボンディベートをする。 ・ 「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文 (現在分詞)、「推量」を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	7	授業観察 発話評価 課題提出
中間 考查	中間 考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	定期 考查
11	・スーパークローン文化財の役割や重要性についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 7 "Cloning" Cultural Properties	・整理した内容を活用して、保存すべき文化財や芸術作品を紹介する。 ・ 「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文 (過去分詞)、関係代名詞 … 前置詞、前置詞+関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	授業観察 発話評価 課題提出
12	・さまざまな人からの平和のメッセージについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 8 Peace Messages from Hiroshima	・整理した内容を活用して、世界平和のために活動している人々について書く。 ・ 倒置、S+V+O+C (=原形不定詞・現在分詞・過去分詞)、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	授業観察 発話評価 課題提出
期末 考查	期末 考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	定期 考查

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	・若者の地域社会への参画や貢献についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 9 Invigorating Our Local Community	・整理した内容を活用して、自分の地域社会への関わり方について書く。 ・省略、完了不定詞、All you have to do is (to) ~、仮定法について理解を深め、これらを適切に活用する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	10	授業観察 発話評価 課題提出
2 ・ 3	・ワイルドライフツーリズムの裏側とSNSの影響についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	Lesson 10 The Underside of Wildlife Tourism	・整理した内容を活用して、写真から読み取れる環境問題について論理的な文章を書くことができる。 ・倒置、分詞構文(完了形)、as if + 仮定法、複合関係詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	10	授業観察 発話評価 課題提出
学年末 考查	学年末考查			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6	定期考查

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・ 技能	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりするための技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりするための技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用い、情報や考え、気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用い、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、多様な語句や文を用い、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。
思考・ 判断・ 表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用い、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用い、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、多様な語句や文を用い、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書こうとしている。

評価の方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に判断する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ul style="list-style-type: none"> ・予習復習をしっかりと行うこと。 ・活動には積極的に参加すること。 ・ノート、ワークシートなどの提出期限をしっかりと守ること。
--	---